

鳥獣保護管理のあり方検討小委員会

宮川森林組合
岡本宏之

宮川森林組合の紹介

所在

三重県の南西部
多気郡大台町を中心
とする地域

- 地形は急峻
- 多雨地帯
- 中央構造線に近く
地形複雑



大台町における森林の被害状況①

■ 吉野熊野国立公園の状況（三重県多気郡大台町内）



大台町における森林の被害状況②

■ 民有林の状況（造林未済地/広葉樹林）



大台町における森林の被害状況③

■ 民有林の状況（人工林）



林業被害の現状と課題（新植地）

- シカによる苗木（スギ/ヒノキ）食害の拡大
- 人工林の育成が困難
- 林齢構造が50年生程度をピークにひとやま構造
- 将来、安定した木材資源の供給が出来なくなる可能性
- 防鹿対策費の増大による生産コスト増加と効果の低下による造林意欲の低下
- 造林未済地の増加による森林荒廃

林業被害の現状と課題（新植地）



林業被害の現状と課題（成林地）

- シカによる成木（スギ/ヒノキ）剥皮被害の拡大
- これまで育成してきた木材資源価値の低下による林業経営への負担
- 広大な人工林に対する対策の限界
- 生産サイクルが数十年を要する林業への新たなコスト負担
- 生長量に応じた木材資源の価値向上が望めない林地が拡大
- 人工林資源価値の低下に伴う生産活動への影響

林業被害の現状と課題（成林地）



これまで実施してきた防鹿対策①

□ 造林地の外周を柵で囲う方法 (ゾーンディフェンス)



これまで実施してきた防鹿対策②

- ▣ 苗木及び成木の単木をガードする方法
(マンディフェンス)



これまで実施してきた防鹿対策の結果

□ ゾーンディフェンス

- ・ 20年程前には効果が得られていた。
- ・ 近年では効果を得る事が困難。
- ・ 資材の強度及び構造を強化し、初期投資を増大してきたが、結果が得られず。
- ・ むしろ、定期的な巡視及び異常気象後の迅速な巡視/補修が効果的。
- ・ 造林コストの増大と森林所有者の意欲の低下から、継続した維持管理が困難。

これまで実施してきた防鹿対策の結果

□ マンディフェンス

- ・ 10年程前から実施しているが効果は低い
- ・ 設置コストが高額

□ これまで実施してきた防鹿対策の課題

- ・ 現状に応じた防鹿対策が必要
- ・ 維持管理費を含めた費用対効果の検証
- ・ 防護だけの林業ではなく、捕獲を含めた対策の検討

現状の課題に対する対策

□ パッチディフェンスの採用

- ・ 将来の林冠高木の成立期待位置に小規模防鹿柵を設置する手法



20120412

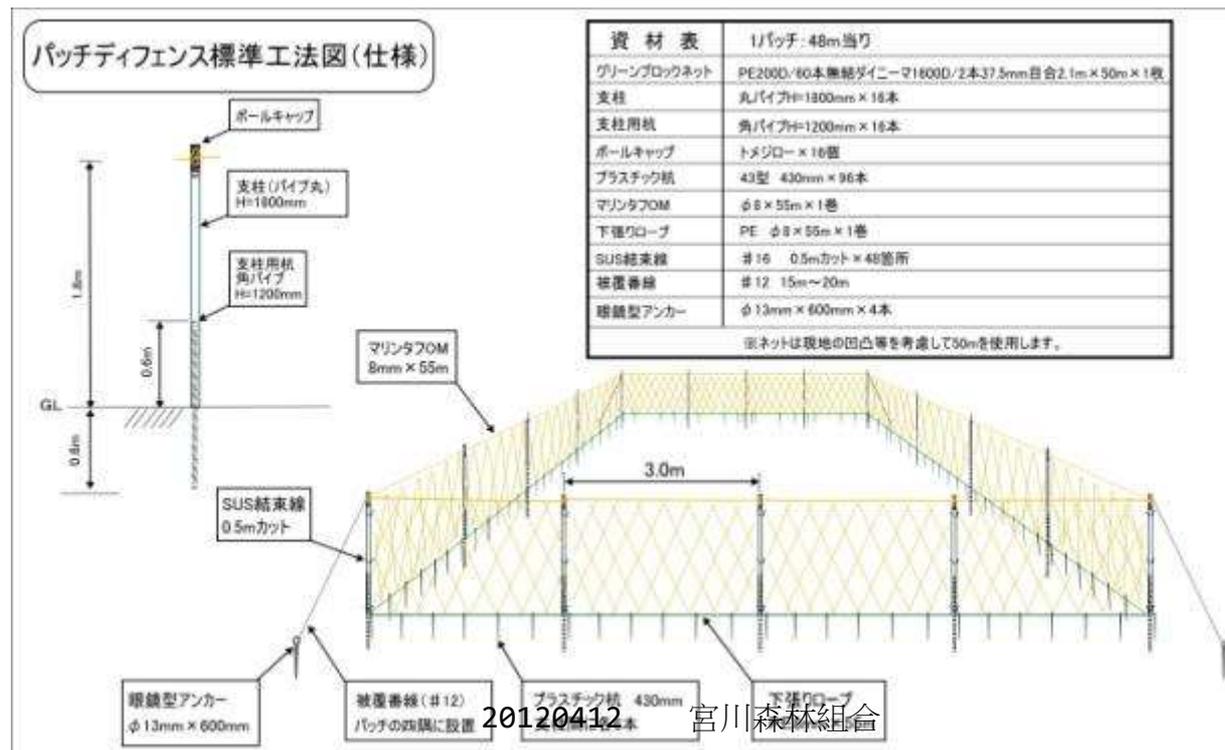


宮川森林組合

14

パッチディフェンスの特徴

- 一辺が10m程度の方形区のサイズ（現状）
- 小規模に閉ざされた檻のような柵であるとシカに認識させる事が重要



パッチディフェンスの効果

- 良好な防鹿効果
 - 6年前から34施工地、450基の設置実績
- メンテナンスフリーに近い維持管理
- ゾーンディフェンスと比較すると防鹿柵の設置延長距離は約2倍程度
- シカ食害に対するリスク分散

林床植生の保護効果

- パッチ内の林床植生の保護効果
草本類、低木類を中心とした植生の多様性維持



20120412



宮川森林組合

保護から捕獲へ

捕獲対応型資材・工法の開発の立案及び試験施工

捕獲用資材：セルフロックスタンション

静岡県農林技術研究所・林業研究センターが技術開発を行っているセルフロックスタンションを使用

セルフロックスタンションは安全かつ容易に運搬、設置、捕獲が可能



捕獲後にネットに負荷がかからないよう、鋼管パイプを地面に埋め込み、鋼管パイプとセルフロックスタンションを番線で固定

捕獲対応型パッチディフェンス設置状況（試験設置）



伐採跡地への広葉樹植栽地設置状況



群状間伐跡地設置状況

捕獲対応型パッチディフェンス誘引状況



森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法

□ 特定間伐等促進計画

- ・ 間伐
- ・ 林道開設

□ 森林整備事業における優遇措置

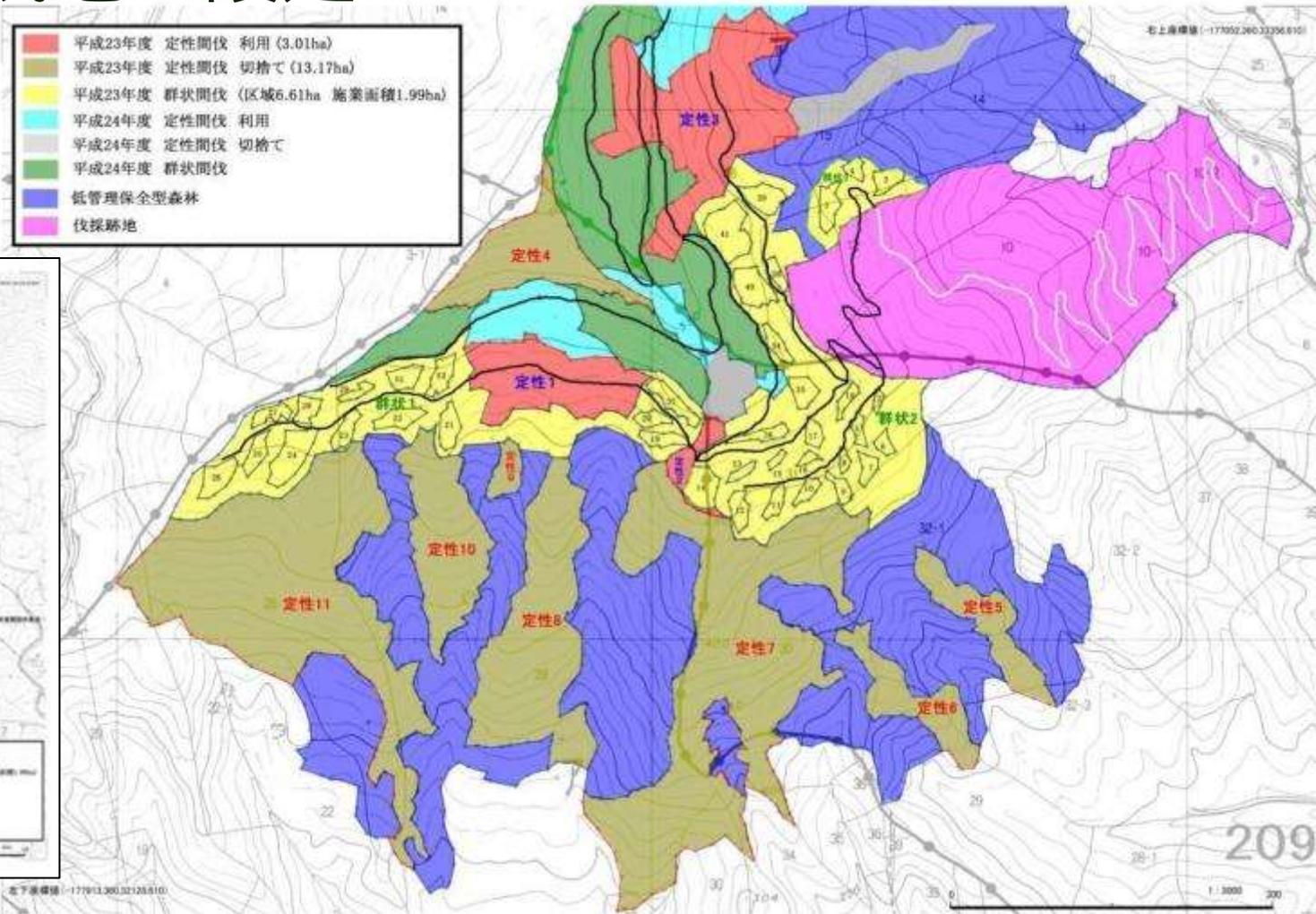
- ・ 間伐等の施業実施に関する助成の優遇

県・市町村との連携・役割分担

- パッチディフェンスの有効性の理解/共有
- 町及び県事業への積極的な採用
- 森林経営計画認定地における群状間伐の実施と林相転換事業への採用及び事業化
- 捕獲を含めた対策に対しての指導及び地元関係者への調整

森林経営計画による施業

群状間伐地の設定



間伐施業と一体となった対策の可能性



今後の課題

- 捕獲と森林施業が一体となった取組の実施
- 地域が一体となった、あらゆる分野の研究者・地元行政及び関係者の指導・協力
- 捕獲による防鹿効果の検証と事業化
- 森林育成の維持管理費の低減と林産物として捕獲後のシカ肉利用の検討